

第4回 熊本市障がい者自立支援協議会就労部会 就労フェア
障がい当事者企画セミナー&ミニライブ

わたしたち
障がい当事者からの働き方改革

～半人前でも働ける社会へ～

※内容の大幅変更の可能性もあります。

2019年1月18日(金)14:40～16:30

※yu-kaミニライブ 12:00頃～

みんなで一緒に考えよう！
とある2つの発達障害当事者の物語。
～発達障害者、人と関わる仕事をする～
うまくいかなかった？「うつ病で退職したけど...」
うまくいったはず？「障害者トライアル雇用から...」
完全ノンフィクション。

なぜ働き続けられないのか/働くって何？

なぜ働き続けられないのか/働くって何？

企画・コーディネーター・話題提供：
須藤 隼 (熊本県発達障害当事者会Littlebit 共同代表理事・社会福祉士)
星野みのり (NPO法人凸凹ライフデザイン 共助センターしらくまセンター長)
山田裕一 (発達協働センターよりみち 相談支援専門員)
コメントーター：yu-ka (ADHD当事者会 才能発掘励まし会)



同時開催！
発達障害当事者
米田さん写真展



お昼休みにゆるーく開催！

神戸より来熊！応援ソングライターyu-ka

トーク『働き方の多様性』& 発達凸凹ミニライブ

発達障害をもつ応援ソングライターyu-kaとの生対談。

誰かの役に立ちたくて、「自分だからできること」を考えた。

～発達障害のある私が見つけた自分を活かす働き方～

IN ウェルパルクまもとと大会議室 ※公共交通機関でお越し下さい。

主催：熊本市障がい者自立支援協議会就労部会(熊本市障がい保健福祉課) 企画：就労部会当事者対話班

就労フェア問合せ：くまもと障がい者ワーク・ライフサポートセンター「縁」TEL:096-288-0500 FAX:096-288-0501

当事者企画セミナー問合せ：発達協働センターよりみちTEL080-4596-6544 mail:hattatsu.yorimichi@gmail.com

※本チラシは熊本県発達障害当事者会Little bitが作成しました。

応援ソングライター yu-ka



プロフィール

兵庫県生まれ。小さい頃からピアノを習い、2017年からシンガーソングライターとして活動。学生時代には飲食のアルバイトで何度も躓き、発達障害の分類の一つであるADHD(注意欠如多動性障害ADHD、不注意優勢型)と、20歳で診断を受ける。

その後、発達障害者を持ちながら活躍する大人たちに励まされたことをきっかけに、自ら発達障害の『強み』に焦点を当てたインタビューメディアを立ち上げ、講演活動やイベントを開催してきた。

また個人でもシンガーソングライターとして、発達障害を持つ方を応援する曲『はったつソング』を届けたり、視覚記憶の苦手さから旅先での時間を『旅ソング』として記録したりと、独自の表現をしてきた。

最近では、ヒアリングを通じて引き出した想いをもとに、その方自身の背中を押すオーダーメイド『応援ソング』制作をしている。

ミニソング作りの講師、関西を拠点とした音楽ライブを中心に活動中。主催ライブは『yu-kaと凸凹フレンズ』という名前で『凸凹を活かし合いながら皆でライブを創っていく』ことをコンセプトに、メンバーそれぞれの特性を活かした場創りをしている。

Builders～ADHD才能発掘・励まし会～自助会スタッフも務める。

【yu-ka 応援ソング作成P 吽】「あなたの想いを引き出し、世界に一つだけのオリジナル応援歌を作ります！」

STEP1：90分間、あなたのことをじっくりとヒアリングさせていただきます！あなただけの『応援ソング』を作らせていただくために、質問シートを記入いただきます。その上で、あなたが今がんばっていらっしゃることで、今後の夢などについて聴かせていただきます。ヒアリングには、コーチング視点を取り入れているため、今後あなたの夢に向かってどのように行動すれば良いかを、持ち帰っていただけます。

STEP2：作詞・作曲を手掛けます♪ヒアリングの内容を元に、時間をかけて作詞・作曲をしていきます。あなたが好きな曲・曲調も参考にしながら、あなたの魅力を2分間にギュッと詰め込んだ曲を仕上げていきます。出来上がったらスタジオで収録します。

STEP3：曲をお届け！お届けの際は、音楽スタジオで収録したmp3音源をメールでお届け！動画もご希望の場合は、Facebookなど、SNSを通じてあなたをタグ付けして配信させていただくことも可能です♪あなたの魅力が、曲を通じてたくさんの方にリリースされます♪

障がい当事者企画セミナー「障がい当事者からの働き方改革～半人前でも働ける社会へ～」

山田 裕一

発達協働センターよりみち 相談支援専門員
立命館大学 生存学研究センター 客員研究員



保育士、行政の障害児者相談員、スクールソーシャルワーカーを経て、障害児者の相談支援専門員として療育・就労支援等に携わる。また発達障害の当事者グループの運営の支援や熊本地震後のみなし仮設の相談支援に携わる発達障害者の雇用継続のためのコーディネート等を行っている。「できること」「できないこと」に激しく差がある人が活かされる社会になるように実践・研究（立命館大学生存学研究センター）を行っている。

RITSUMEIKAN

須藤 雫

熊本県発達障害当事者会
Little bit 共同代表理事



熊本県発達障害当事者会 Little bit は2011年7月に熊本県初の発達障害当事者主体団体として誕生。単なる自助グループではなく、当事者の思いを積極的に発信し、他の障害者団体、支援機関等と連携しながら、思いを形にしていくことを目指している。定例会の開催をする他、研修会・講演会の開催、他地域の精神・発達障害当事者会との交流・協働イベントの開催をしている。

星野みのり

NPO法人凸凹ライブデザイン
共助センターしろくま センター長



Uneven Life
Design

NPO法人凸凹ライブデザイン

発達障害当事者の表現活動を応援する共助センターしろくまの縁の下での力持ち。医療法人のピアスタッフ等の経験がある。熊本地震後、発達障害特性のある方は特に目に見えない影響を受け、十分に自分の力を発揮できないことも多くなっている。しろくまはそんな当事者の表現活動（絵画、デザイン、詩作、HP、手工芸、文芸、写真等）に意欲のある発達障害当事者の方を応援している。

写真提供

米田さん



A. 就労部会 当事者対話班の活動をご紹介します。

毎年行っている活動	「就労フェア」の開催 毎年度、その年度の集大成となる「就労フェア」というイベントを執り行います。H29年度はおよそ140人の方にご参加いただきました。
H27年度	インターネットネットラジオ「おしごとふらっと」
H28年度	H28年熊本地震に関する障がい当事者の声をまとめた冊子の作成 小冊子「MIZICA」の発行に協力しました。 「おでかけフラット」企画 障がい当事者視点での、障がい者施設のクロスレビュー企画です。来年度(H30年度)はこれをいくつかの施設で実行に移したいと考えています。
H29年度	「夕方フラット」企画・実施 障がい者や支援者の中からゲストを一人お招きし、仕事などでの失敗談、苦勞、やりがい、その他さまざまなことについてお話していただく場です。